

（10面から続く）  
 ▼外国人児童生徒等への教育の推進  
 ▼共生社会の実現に向けた婦人・外国人児童生徒等教育の推進支援12億8300万円  
 外国人の子どもの就学状況の把握・就学の促進を図るとともに、学校における

日本語指導体制の充実や、高校における日本語指導の充実に向けた指導資料の作成、日本語担当教師等の資質向上を図るための履修証明プログラムの構築、外国人児童生徒等の集住・散在地域それぞれにおける課題を解決する先進的なプログラムの開発等、多様な取組

を通じた支援によって外国人の子どものなどに対して適切な教育機会を確保を図る。  
 【全国学力・学習状況調査のCBT化に向けた取組】  
 全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の

学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立て、さらには、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的と

して実施している。  
 GIGAスクール構想やPISA等の国際的な学力調査のCBT（コンピュータ）活用型調査による実施の流れを踏まえ、全国学力・学習状況調査のCBT化について専門的・技術的な観点から検討を行い、小規模からの試行・検証や問

題開発等に取り組み。  
 ▼全国学力・学習状況調査のCBT化に向けた取組  
 5億8000万円（新規）  
 全国学力・学習状況調査のCBT化に向けて、全国的な学力調査のCBT化検討ワーキンググループの中間まとめ「論点整理」を踏まえ、国立教育政策研究所

と連携し、小規模からの試行・検証や問題開発等に取り組む。  
 ▼全国学力・学習状況調査のCBT化に向けた取組  
 検証18000万円  
 ▼CBT問題開発・測定・評価等に関する調査研究（国立教育政策研究所）15億円

### 釧路校長会 6町合同校長・教頭研

## 「リードすること意識を」

### 釧路局・井川次長が講話

【釧路支】釧路校長会（佐野哲哉会長）は16日、管内6町合同の校長・教頭研修会をオンライン開催した。  
 小・中・高校の管理職や町教委教育長、指導室長など約100人がウェブ会議システムZoomを使って参加。釧路教育局の井川智次長の講話を聴講し、管理職候補者の育成や働き方改革の推進について研鑽を深めた。

引き続き、井川次長が「管理職候補者の育成と働き方改革について」と題して講話した。  
 管内小・中学校管理職候補者育成方針の概要を解説したあと、教頭希望者が少ない中、校長退職者数が毎年2桁になる現状にふれ、教頭の必要数確保が困難な状況を強調。関係機関が連携を密にし、中期的視野に立つて、組織的・計画的に人材育成に取り組む必要性を訴えた。

そのためには、キャリアステージに応じて求められる資質・能力への意識化や、学校における働き方改革の推進が必要であると、教頭の負担軽減などに早急に取り組む必要性を伝えた。  
 学校における働き方改革については、道教委が作成した手引き「Road」を

もとの説明。「Roadは答えではなく材料」とした上で、働き方改革を推進する8段階のプロセスを示した。  
 最も重要なのは校長のリーダーシップと強調。管理職候補者育成も含め、校長が「管理する」だけでなく「リードすること」を求め、管理職の魅力ややりがいや伝えるよう期待した。

最後に、山本五十六の言葉から「任せて」「信頼」することが、人を育て、動かすことにつながるとした。

## 新時代の授業 在り方は

### 釧路局がICT活用研修会

### 3日に分け各地から90人

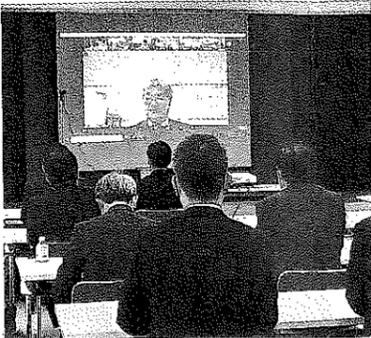
【釧路支】釧路教育局は6・15・16日の3日間、釧路市生涯学習センターでICT活用研修会を開いた。  
 管内の小・中・高校、特別支援学校、義務教育学校の教頭約90人が参加。説明、実践発表を通して1人1台端末時代の新しい授業の在り方を学んだ。

【釧路支】釧路教育局は6・15・16日の3日間、釧路市生涯学習センターでICT活用研修会を開いた。  
 管内の小・中・高校、特別支援学校、義務教育学校の教頭約90人が参加。説明、実践発表を通して1人1台端末時代の新しい授業の在り方を学んだ。

【釧路支】釧路教育局は6・15・16日の3日間、釧路市生涯学習センターでICT活用研修会を開いた。  
 管内の小・中・高校、特別支援学校、義務教育学校の教頭約90人が参加。説明、実践発表を通して1人1台端末時代の新しい授業の在り方を学んだ。

【釧路支】釧路教育局は6・15・16日の3日間、釧路市生涯学習センターでICT活用研修会を開いた。  
 管内の小・中・高校、特別支援学校、義務教育学校の教頭約90人が参加。説明、実践発表を通して1人1台端末時代の新しい授業の在り方を学んだ。

【釧路支】釧路教育局は6・15・16日の3日間、釧路市生涯学習センターでICT活用研修会を開いた。  
 管内の小・中・高校、特別支援学校、義務教育学校の教頭約90人が参加。説明、実践発表を通して1人1台端末時代の新しい授業の在り方を学んだ。



講話を聴く釧路町会場の参加者

研修会では、はじめに佐野会長があいさつ。コロナ禍で研修会等が激減している状況を踏まえ、「校長会、教頭会がより一層連携を深めることで、管内教育の課題解決への行動化を進めてほしい」と期待を寄せた。

研修会では、はじめに佐野会長があいさつ。コロナ禍で研修会等が激減している状況を踏まえ、「校長会、教頭会がより一層連携を深めることで、管内教育の課題解決への行動化を進めてほしい」と期待を寄せた。

研修会では、はじめに佐野会長があいさつ。コロナ禍で研修会等が激減している状況を踏まえ、「校長会、教頭会がより一層連携を深めることで、管内教育の課題解決への行動化を進めてほしい」と期待を寄せた。

研修会では、はじめに佐野会長があいさつ。コロナ禍で研修会等が激減している状況を踏まえ、「校長会、教頭会がより一層連携を深めることで、管内教育の課題解決への行動化を進めてほしい」と期待を寄せた。

研修会では、はじめに佐野会長があいさつ。コロナ禍で研修会等が激減している状況を踏まえ、「校長会、教頭会がより一層連携を深めることで、管内教育の課題解決への行動化を進めてほしい」と期待を寄せた。

## 北海道夜話

### 木村 司

### 亡者の声

秋田陣屋跡の留守番になった清六は、夏も終わりがけたある夜、入船小路の一杯酒を飲み、雨模様を夜道を陣屋に帰るときのことだった。表門に近い溝に沿って歩いていると、「お、お、お、念仏あげてな」といって振り返って見ると、具足を付け、頬を濡らした男が柳の木の下にしゃんぼり立っていた。

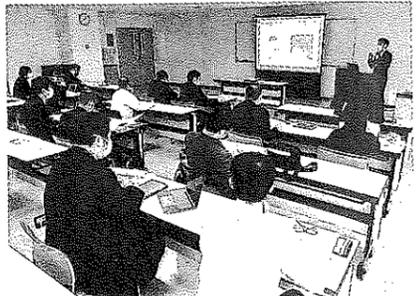
情に清六を見つめているのであった。いつべんに酔った家に飛び込んだ。やがて秋になり、びゅうびゅうと吹く夜半の風に破れた陣子が鳴り、板戸のはずれの物音がして、清六は目を覚ました。廊下に人の気配がする。足音がひたひたとする。そして、密かに話す声がしたかと思うと去って行った。

幽霊だ、あれは亡者の声だ。清六は恐ろしくなって布団をかぶり、息を飲んで朝を待った。  
 朝になって、この話を仲間の人たちにする、この陣屋近くで幽霊に会ったという者が意外に多かった。中には、口から血を吐いていける者を見た者もあり、火の玉になって流れていくのを見た者もいた。晴れた朝、木立の陰から雫の音を耳にした者もいる。

こんなことがあってから陣屋の廃屋に幽霊が出るという噂が広まった。  
 安政3年からおよそ10年間、増毛を警護した秋田藩の士たちは、広大な陣屋を構築し、ロシアの来襲に備えた。壕で囲った本陣内には、兵舎、倉庫、武器庫、養生所など28棟が建ち、その周囲には足軽長屋が75軒

もあつたといわれている。ここに居る人たちが一番苦勞したのは、どうして冬を越すかということ、その中でも冬の食糧、特に野菜不足による病気が多かったようであった。  
 病気がもたらす、多くの人が死んだ。当時は外敵よりも、むしろ寒さの方が脅威であり、自分の命をどうやって長らえるかに関心をもちなければならなかった。こうした土地の様子を知らないのでこゝに来て、厳しい旋回も、命を落とす人も少なくなかった。

「戦いは五人一組で当たるといふ、一人死して残る四人がひるんだら即刻敗退する」と「アイヌに近づき、私的に物を売ってはならぬ」と「など、土地の生活経験豊かなアイヌからも生活の知恵を得ることができた。



オンライン授業を体験する講習も実施した

### 世代を超えて楽しむアナログゲーム

11月に砂川市教委 幼児から一般対象

【岩見沢支】砂川市教委は、11月14日午前10時から公民館でアナログ・ゲームクラブを開く。

おもちゃコンサルタント マスターの坪江利香さんを講師に、幼児から大人まで

世代を超えて楽しむゲームを行う。

対象は幼児・小学生から一般（幼児は保護者同伴）まで。定員は先着20人。参加無料。

申込は、市教委社会教育課社会教育係・電話0125(54)2121内線387。11月12日まで受け付ける。

「お、何だぞめえ」との世へも行かれぬ。「舟こねも三途の川で足止めよ」といって声がかたと思ふと、あはれ低いうなり声が向かうの部屋から流れて細った男が髪を乱し、無茶く。

「お、何だぞめえ」との世へも行かれぬ。「舟こねも三途の川で足止めよ」といって声がかたと思ふと、あはれ低いうなり声が向かうの部屋から流れて細った男が髪を乱し、無茶く。

「お、何だぞめえ」との世へも行かれぬ。「舟こねも三途の川で足止めよ」といって声がかたと思ふと、あはれ低いうなり声が向かうの部屋から流れて細った男が髪を乱し、無茶く。

「お、何だぞめえ」との世へも行かれぬ。「舟こねも三途の川で足止めよ」といって声がかたと思ふと、あはれ低いうなり声が向かうの部屋から流れて細った男が髪を乱し、無茶く。

「お、何だぞめえ」との世へも行かれぬ。「舟こねも三途の川で足止めよ」といって声がかたと思ふと、あはれ低いうなり声が向かうの部屋から流れて細った男が髪を乱し、無茶く。

「お、何だぞめえ」との世へも行かれぬ。「舟こねも三途の川で足止めよ」といって声がかたと思ふと、あはれ低いうなり声が向かうの部屋から流れて細った男が髪を乱し、無茶く。

**道通ビル 入居者募集**

お問い合せは  
**北海道通信ビル株式会社**  
 札幌市中央区北五条西六丁目  
 電話(011)221-3366

**貸事務所・貸店舗**

第一、第二、第五道通ビル  
 札幌駅より徒歩三分。道庁に近  
 冷暖房・立体駐車場  
 地下に飲食店街があります。  
 地下貸飲食店舗・一階貸店舗  
 三階以上貸事務所  
 委細面談

<http://dotsu-bldg.net>